

核融合発電の産業協議会

今週登記・設立へ 古河電工が 常任理事企業に

核融合発電に関する産業協議会が今週設立される。核融合関連産業の創出でエネルギーへの革新をもたらすための団体。非鉄関連企業では古河電工・フジクラ・大和合金が参画する。今週の登記をもって設立され、4月1日からホームページを開設して会員募集を始める予定。5月以降に

設立総会が開催される。会長社は核融合プラントに関する研究開発などを行っている京都大学発スタートアップ企業の、京都フュージョニアリング。古河電工は常任理事、フジクラと大和合金は理事会社となる。内閣府が22日に発表した。核融合発電は核分裂での現行原子力発電よ

り環境負荷が小さいほか原料が調達しやすい、実証に向けたプロジェクトが世界的に進行している。協議会は核融合関連産業を育成するための一般社団法人として設立される。名称はフュージョニエネルギー産業協議会で通称はジェイ・フュージョン。5月以降に設立総会の開催を予定し

ている。

古河電工とフジクラは核融合発電関連の技術として電気抵抗ゼロで電流を流せる超電導線材などの知見を有する。大和合金は高温下でも強度に優れる銅・クロム・ジルコニウム合金の管や板でノウハウがある。大和合金の萩野源次郎社長は「カーボンニュートラル社会に向け貢献すべく、夢のエネルギー実現のために役立ちたい。今後の大きな発展可能性を考えると身が引き締まる」と話している。